

## 海外安全対策情報（2019年7月～9月）

### 1 社会・治安情勢

ウガンダでは、マーケットなど混雑する場所でのスマートフォンの窃盗や深夜の住居侵入、強盗や誘拐などの凶悪犯罪も多く発生しており注意が必要です。特に、日が落ちてからの徒歩移動や人通りが少ない路地の利用は危険なため避ける。また、女性や子供が被害者となる誘拐・暴力・性犯罪事件も発生しており同様の注意が必要です。

9月にカンパラ市の在ウガンダ日本国大使館前で発生した政治に関するデモなど警察とデモ隊との衝突も散発的に発生しており、騒動に巻き込まれないようそれら現場には近づかないこと。また、9月以降エボラ出血熱においても、発生は報告はないが手洗いなどの予防を励行し警戒する必要がある。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪

#### (1) 盗難・強盗事件等

##### ア 邦人被害事案

- 7月 マユゲ県で日中に人通りの少ない小路を歩いていたところ、突如後ろから顔面を殴打され（眼底内出血）タバコ1箱を強奪された。
- 7月 ワキソ県の自宅で就寝中に強盗が押し入り凶器のナタで住人を襲い（顔面を負傷）現金と車両、携帯電話を強奪した。
- 8月 乗合バス（マタツ）乗車中にスマートフォンを盗まれた。

##### イ 邦人以外

- 7月 渋滞中に車のサイドミラーなど自動車パーツの盗難事件が増え、特に20時から21時の間で被害が多発している。
- 8月 マユゲ県では、車両ナンバープレートの盗難事件が多発した。
- 9月 カンパラ市メンゴのNGO公邸に賊が侵入し、現金とパソコン、携帯電話が盗まれた。また、住人3名は襲撃を受け負傷した。

#### (2) 殺人事件

モバイルマネー・エージェントへの攻撃事件は、増加傾向にあり今年に入って全国で少なくとも37件発生し死傷者も出ている。また、カンパラ市では銃を使用した強盗事件も多発している。

### (3) 外国人が巻き込まれたその他の事件

ア 8月 カンパラ市において金の取引でアジア人が500万ドルの詐欺にあった。

8月 ムコノ県でアジア人が銃で武装した賊に車を停車させられ現金を強奪された。

## 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は2010年7月以降発生しておらず、落ち着いている。ただ、2019年4月に発生したスリランカの同時爆発事件をはじめ予期なく発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がける必要がある。

## 4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していない。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生している。

邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意する必要がある。

ア カヌング県 (Kanungu)

4月から10人のウガンダ人がコンゴ民兵と思われる賊によって誘拐された

イ カンパラ市 (Kampala)

8月夜、28歳の女性が武装した賊に誘拐され殺された。

ウ ルウェロ県 (Luwero)

9月、7歳の少年が誘拐されたが、警察が犯人を逮捕し無事解放された。

## 5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や金取引に関する詐欺事件などが発生しているので取引の際は慎重な審査を行う必要がある。

引き続き事務所、自宅への侵入被害が多発しているので居住エリアの選定の際は、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われ

る対象)にならないよう、セキュリティがしっかりした建物を選ぶこと。入居後も、侵入が容易な場所はないか他の侵入被害情報などを参考に定期的にチェックし警備レベルの維持と向上に努めること。

以上